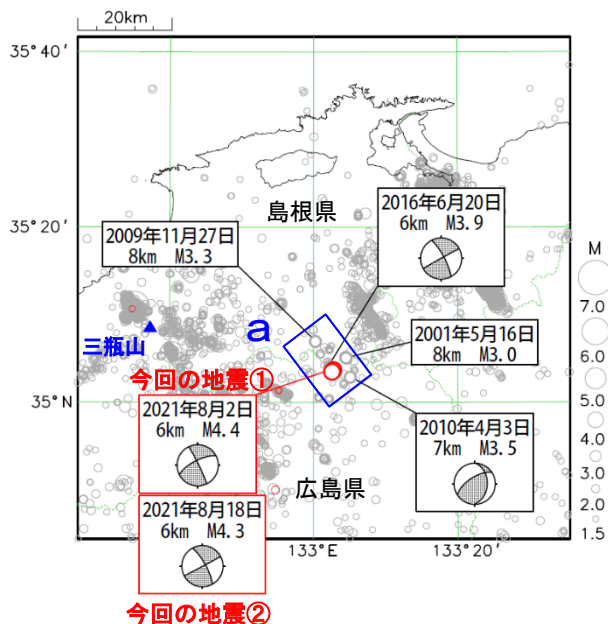


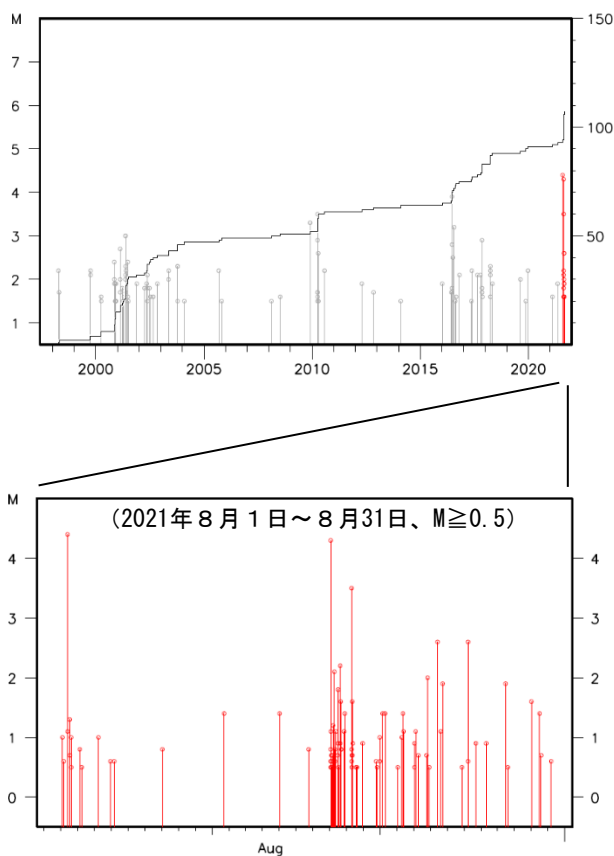
8月2日、18日 広島県北部の地震

どちらの地震も情報発表に用いた震央地名は〔島根県東部〕である。

震央分布図
 (1997年10月1日～2021年8月31日、
 深さ0～30km、 $M \geq 1.5$
 2021年8月の地震を赤色で表示)



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

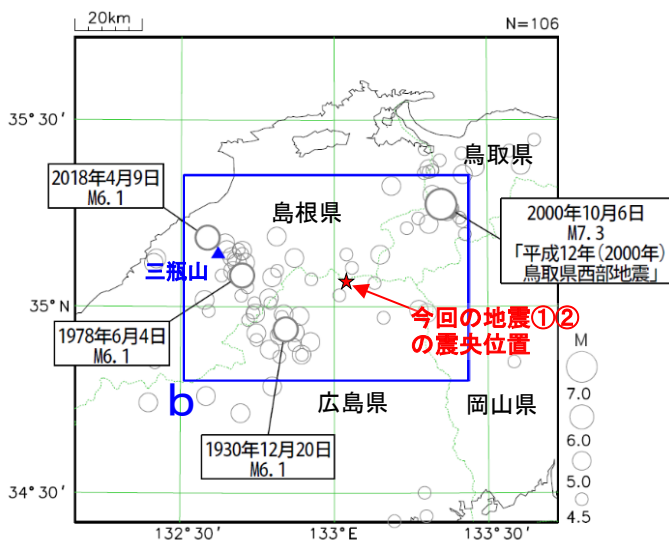


2021年8月2日09時37分に広島県北部の深さ6kmでM4.4の地震(最大震度4)が発生した。また、18日01時31分にほぼ同じ場所を震源とするM4.3の地震(最大震度4)が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。これらの地震の発震機構は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。2日の地震後の地震活動はあまり活発ではなかったが、18日の地震後の地震活動はやや活発となり、19日07時15分にはM3.5の地震(最大震度3)が発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)ではM3.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0程度の地震が時々発生している。「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」(M7.3)では、重傷39人、軽傷143人などの被害が生じた(総務省消防庁による)。

震央分布図
 (1919年1月1日～2021年8月31日、
 深さ0～100km、 $M \geq 4.5$
 2021年8月の地震を赤色で表示)



領域 b 内の M-T 図

